

会 報 《第476号》

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



令和7年11月1日

目 次

I 第534回月例会

「横尾忠則入門」

～ 復活！ 横尾忠則の髑髏まつり ～

横尾忠則現代美術館 館長補佐兼学芸課長 山本 淳夫 氏・・・2～4頁

II 会員寄稿

「 CLT 工法で創る自然と動くオフィス 」

前川建設 株式会社 経営企画室長 前川 桂恵三 氏・・・5～7頁

III 第170回研修交流会の開催・・・・・・・・8頁

IV お知らせ 訃報・行事予定・編集後記・・・・・・・・8頁

V 広報コーナー 兵庫県住宅再建共済制度・・・・・・・・8頁



I 第534回月例会

「横尾忠則入門」

～ 復活！ 横尾忠則の髑髏まつり ～

横尾忠則現代美術館 館長補佐兼学芸課長 山本 淳夫 氏



(山本館長補佐兼学芸課長)

横尾忠則現代美術館の山本と申します。

今日は、横尾忠則さんとはどういう方というお話をさせていただいたのち、自由に展覧会を見ていただきたいと思います。

横尾さんは、二つの顔を持ったアーティストで、若い頃はデザイナーで、途中で画家に変わった方です。

超売れっ子デザイナーだった横尾さんは、1981年に突然画家宣言をして、絵描きになりました。今では唯一無二の作風で、絵も世界的に注目されています。

さらに、非常に多彩な方で、大島渚監督の映画「新宿泥棒日記」で主演をしていますし、2008年には『ぶるうらんど』という死後の世界を書いた小説で第36回泉鏡花文学賞もっています。また、音楽にも造詣が深く、テクノポップのYMOの誕生にも関わっています。

ここからは、横尾さんの生い立ちを含めて50年代から10年刻みでお話します。

1950年代

1936年、播州織の町、兵庫県西脇市に生まれます。実父の兄夫婦に養子として迎えられ、養父母から一人っ子として溺愛されて育ちます。

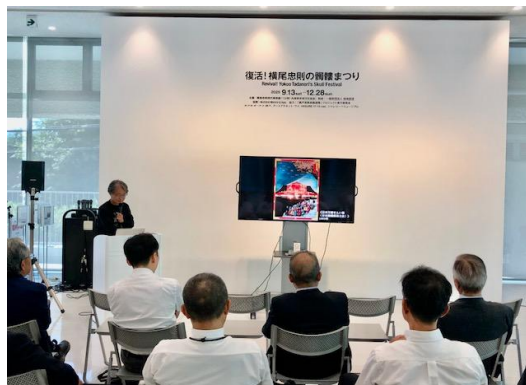
横尾さんは、模写がとても得意でした。また19歳の時には地元の織物祭のポスターを作って1等賞をとり、印刷屋に就職が決りました。

その後、神戸新聞に就職されます。そこで奥様と出会われて、1958年に結婚されます。新婚時代は神戸市灘区青谷町に住んでおられました。

1960年代

1960年代に入りまして、横尾さんは上京し、日本のトップデザイナーが集まっていた日本デザインセンターに就職します。

1965年に行われた「ペルソナ展」という展覧会で横尾さんのポスターが一躍注目されます。当時、日本は右肩上がりに経済成長していた時代で、凄くモダンなデザインが全盛を極めていました。ところが横尾さんは、その流れに反して、戦前の田舎で慣れ親しんだ古い日本の造形を、非常にモダンなテイストで見せていったのです。



(講演風景)



(展覧会：骸骨まつり 入口)

それが当時のアングラカルチャーと結びついて、アングラ演劇のポスターもつくっていきます。それらは、横尾さんの代表作となっただけではなく、この年代の日本のグラフィックデザインのある種のシンボルとなりました。

この頃に出会うのが、唐十郎、寺山修司、美輪明宏さんといったアングラ演劇の人たちです。唐十郎の《腰巻お仙》のポスターは、1967年にニューヨーク近代美術館が世界の60年代の代表的なポスターの一つに選んだくらい、類例のないものでした。

劇作家の寺山さんとは、彼の《毛皮のマリー》の舞台美術を担当したとき、装置が劇場に入らず、「切断して運び込め」と言われた横尾さんは、激怒して帰ってしまいました。でも、その姿を見た美輪さんが「あの寺山修司に立ってつくなんて、骨のある人物だ」と仲良くなり、それ以来、美輪さんの舞台ポスター等をデザインしていかれます。

前のお阪万博では、日本万博せんい館という建物の建築デザインもしています。真っ赤な足場を外壁にそのまま残すという異様な建物でしたが、5年ほど前、建築家の磯崎新さんが横尾さんとこの美術館で対談された時に「万博の建物のなかで最高だった」言われていました。

1970年代

70年代の話で特筆すべきは、小説家の三島由紀夫さんとの関係です。

三島さんは横尾さんに挿絵や演劇のポスターとかをやってもらって仲がよかったのですが、親愛の情からか時々悪乗りが過ぎるので、三島

さんから「礼節をわきましろ」と時々怒られたそうです。

三島さんの写真集『薔薇刑』のブックデザインを手がけたとき、三島さんのヌードの上にバラが散っていて、インドの神々が見下ろしているというデザインを見た三島さんは、横尾さんに「これは俺の涅槃像に違いない」と言い、その三日後に、自決してしまいます。

横尾さんは、三島さんに「そろそろインドに行ってみたら」とも言われ、実際に訪れました。インドで出会った神秘的な思想が、作品に反映されていきます。

さらに、挿絵の仕事としては、瀬戸内寂聴さんの時代小説『幻花』には、ちょっと狂気を感じさせるぐらいの細密描写の挿絵が300点位描かれています。鋭いペン画の表現は後年の日本の漫画にも影響を与えたのではないかと思います。70年代のこういう挿絵は横尾さんのイラストレーションの傑作です。

1980年代

そして80年代。いよいよ横尾さんは一大転機を迎えます。デザイナーとして大成功しているのにそのキャリアを捨てて絵描きになるというのは大変なことだったのです。

そのきっかけとなったのがパブロフ・ピカソです。1980年にニューヨークの近代美術館でピカソの展覧会が行われ、横尾さんはそれを見にいくわけですが、ピカソの絵は勿論凄いのですが、生き方はもっと凄いと思ったようです。ピカソは1日1点のスピードで、作風が毎日別人のように変わる。それが、横尾さんはデザインとは違う魅力を感じたようです。

一方、独学だった横尾さんは、絵の具の扱い方がわからず、試行錯誤を重ねます。



(2階 展示室風景)

最初の頃に描いたものに、自ら裸になって富士の樹海に入り、ターザンに扮した絵があります。文明に対して自然のおおらかさを絵にしたいという思いがあったようです。

その頃に、女性ボディービルダーのリサ・ライオンに出会います。横尾さんは、大自然のなかでポーズする彼女の写真を夢中で撮り、それを絵にしていきました。

さらに、日本書記の中で、日本武尊が草薙の剣を振るって火を消す有名なシーンなど、神話や宗教といった壮大なテーマにも取り組んでいきます。

そうするうちに、横尾さんは、磯崎新さん設計のアトリエを手に入れます。とても広い所で絵が描けるので、描き方が段々複雑になり、ついにはまるでパズルみたいな凝りに凝った作品となりました。そこからは、いかに描くかという技術の問題に横尾さんの関心が移っていきます。

1990 年代

90 年代、いよいよ横尾さんは幼少期の故郷の記憶を絵のモチーフとしていきます。

その一つのきっかけが、1984 年、生まれ故郷に西脇市岡之山美術館ができたことです。ここで、いろんな展覧会をやるために、より頻繁に故郷に帰るようになりました。

そうする中で、自分の生きてきた記憶をたどり、子ども時代に好きだった怪人二十面相など、面白いことを色々再発見します。

また、平和な西脇の町で、横尾さんの子供時代に一度殺人事件があったそうです。当時は総合病院がなかったので、事件があった家の庭で司法解剖が行われました。それを覗き見みした横尾さんは、ストレッチャー上の死体の腕が突然跳ね上がるのを目撃します。そういうオカルチックな記憶も絵に描いています。

2000 年代以降

2000 年代になると、ライフワークのひとつである「Y 字路」シリーズが始まります。

横尾さんは Y O K O O の Y をとって、三叉路のことを Y 字路と呼びます。右に行くのが正

解か左が正解か、作品はそんなことを問いかけているようです。

また、西脇は杉原川と加古川が Y 字に交わる中州にできた街で、横尾さんが描いた色んな Y 字路のロケ地を見ながら市内を回ることができます。

この後も、隠居宣言などのエピソードがあるのですが、時間が過ぎているので、この辺で話を終えたいと思います。

それでは、是非、展覧会を楽しんで帰っていただきたいと思います。



(横尾忠則現代美術館全景)

Ⅱ 会員寄稿

「 CLT 工法で創る自然と動くオフィス 」

前川建設 株式会社 経営企画室長 前川 桂恵三 氏

前川建設は総合建設業として、主に建築・土木工事を仕事としておりますが、木造建築事業部として、このたび、姫路市に、CLT 工法で創る事務所を設計施工させていただきましたので、その経緯と建築をご紹介しますと思います。

—CLT 建築の取り組み—

前川建設の住宅リフォーム事業を18年前から始めており、10年前からは木造住宅も設計施工しています。そうしたなかで、住宅のモデルハウスを建築することになったのですが、自身の設計に限界を感じていたため、建築家の伊礼智先生に教わることを決意し、モデルハウスの計画を進めました。

一方で、会社として社長より CLT 工法に取り組む方針が決まっていたことから、弊社の住宅モデルハウスの横に、打合せや事務所スペースとしての小さなカフェを計画するにあたって、CLT 工法を採用しました。

住宅のモデルハウスは、伊礼智先生が全国で進める設計の標準化を進めた住宅である **i-works project** の **i-works5.0** として建築することになりましたが、せっかくの機会なので、CLT 建築は伊礼智先生に確認頂きながら自社設計で取り組むことにしました。スタッフとともに基本計画の見直しから詳細設計まで、延床 25 坪ほどの小さい建築ですがいろいろと学びながら完成し、敷地一体の作品として、グッドデザイン賞も受賞することが出来ました。



外はガルバリウム鋼板と杉板で計画したのですが、**i-works5.0** の白い壁が映えるようにやや地味な設えにしています。それでも有機的な木目と無機質な外壁が対照的で、より木が引き立つ感覚から、周囲の樹木と街並みに貢献しています。



中に入ると、構造壁と天井に使った CLT パネルが大胆に現しにした姿が目に入ります。



地元にある尾上神社の鐘を模した尾上釜をカウンターに仕込み、1階では不定期にカフェを運営しており、お客さんに珈琲だけでなく、抹茶をお出ししています。

このオフィスが出来たころに、ちょうど建設費高騰から、何か新しいものを考えられているお施主様が見に来られて、お話をさせていただき、感性の高いお施主様が、この庭と、この木質空間を気に入った、是非一緒に地域にこうした建築を広めていこうということで、設計をさせて頂くことになりました。施工は協働しながら、ノウハウを共有して進めていきました。

小さな店舗から約 600 ㎡のオフィスということでもありましたが、相当考えて設計した店舗でし

たので、オフィスについてもそこで考えたうまくいった点や反省点を反映していきました。ちょうど、兵庫県の木造建築セミナーを一期生として受講したばかりでしたので、その知識も役立ちました。

また、CLT パネルは、近くですと、岡山県の真庭、銘建工業さんが製作されていますが、兵庫県産木材は採用されていなかったため、せっかくならばと、兵庫県産材を PR し、少し嫌な顔をされながら押し込んで（笑）、結果として兵庫県産材の品質が高いことを認めてもらい、今後のルートになったと聞いております。

建築にあたっては、林野庁の CLT 建築実証支援事業の補助金も申請し採択されましたが、そのなかで、『地域の山から製材した木で建築し、木の心地よさを感じながら、太陽や雨の恵みを活用する ZEB&CLT 建築』というコンセプトで、地域材活用、太陽熱利用や雨水貯水タンクなど自然エネルギーを活用する自然循環型のオフィスとして計画をしました。

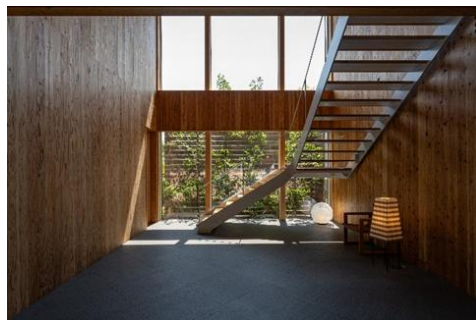


造園は荻野景観設計に依頼して、美しい植栽を設えていただきました。まさに雑木林のなかに生えてきたような建物に入っていくエントランスになりました。



植栽と深い庇をくぐって大谷石の階段をのぼって中に入っていきますが、大谷石のスロープからも入っていくことができます。

中に入ると、エントランスには階段の吹抜けがあり、坪庭を楽しむことができます。



壁も天井も全て CLT パネルの現しで、ここまですべて木に囲われ切る空間は珍しいのではないかなと思います。CLT 工法ならではのデザインとして実現しました。万博の日本館も素晴らしい建築でしたが水平荷重に対して構造壁に CLT が使われている鉄骨造でした。



2階に上がると、1階のエントランスの坪庭と2階の休憩デッキスペースを貫く高木を眺められます。



オフィス自体も、障子と木に包まれる計画にしたので、テーブル等も造作で大工さんに作ってもらいました。

さらに、施主様の意向もあり、ZEBを実現することにも挑戦することとなり、『LCCO 2 削減型の先導的な新築 ZEB 支援事業』に採択されて、完全『ZEB』のオフィスとして建築しました。社長室には、天窗からの光や太陽熱システムが見えます。



ZEB実現には、トリプルサッシなど断熱性能を高めたほか、空調システムを工夫して、台数制御型にしたことや、全熱交換器換気システムはじめ高効率機器の採用と太陽光発電を 44.88kW 搭載しました。結果として、118%の一次エネルギー削減となり、想定以上の省エネルギー化を実現できました。



LCCO2削減という概念も未だ新しいのではありませんでしょうか、J-CAT というソフトに、採用する建材等を入力して、計算します。製品の製造過程から、建築されて運用され、廃棄、リサイクルされるまでの全体で排出される CO2 の総量を計算し、様々な施策を実施して、LCCO2 を削減していきます。今回、地域材を活用したことも輸送コストを削減することになります。基礎には、リサイクルとして高炉セメントコンクリートを採用しています。環境に配慮した建材があればそれを採用し、LCCO2削減を可視化することが出来ます。私も初見のソフトで、まだ開発段階のようですが、いずれ活躍する仕組みになるかもしれません。



この計画で利用した木材は、240.33 m³の木材（うち CLT 構造材 139.50 m³）が利用されており、そのうち、兵庫県産材の杉・桧は 166.55 m³になります。それ以外の木は、主に梁に採用されがちな米松や赤松、レッドウッドの類です。これから、日本の木造建築は、国産材がどう再生されていくのか、なにが風土に合った木材といえるのか、耐久性はどうかなど、議論されていくのかもしれませんが、たいてい、慣習にならってコスト重視や商売合理性で進んでいきます。

設計士が、気合いを入れて、国産材にこだわるとか、地域材にこだわるとか、考えながら設計に取り組む必要があるんだろうなと思います。少なくとも私が設計する住宅の土台と柱は全て桧の無垢材にしています。古代から貴重な建材として愛されてきた桧を使うことは住む人も幸せになるでしょう。さらに、近年の集中豪雨や、メガソーラーをはじめとする無秩序な開発により、土砂災害も多発しています。地域の森林を守るためにも、地域材を管理できる林業の再生が重要であることでしょう。

そうした自然に囲われて楽しく働ける環境と、自然のことを考えて建築したということで、『自然と働くオフィス』としました。果たして、このオフィスに入るとスタッフの皆さんはつつい生産性高く働くことになるのか！？と思いながら、社業の益々の繁栄をお祈りしています。

結びになりますが、前川建設として、建設業に精進しながら、引き続き地域の皆様に飲んで頂ける仕事を進んで実践して参る所存です。これからも変わらぬご愛顧とご指導ご鞭撻のほど何卒宜しく申し上げます。

Ⅲ 第170回研修交流会

第170回研修交流会が14名の参加により開催されました。

開催日：令和7年10月23日（木）

場 所：城山ゴルフ倶楽部

優 勝 杉田 健一氏 (株)森長組

準優勝 原 広行 氏 (株)森長組

第3位 佐伯 康彦氏 久保田セメント(株)

城山賞 佐川 圭 氏 (株)創建設計

B・B賞 宮崎 健一氏 宮崎建設(株)

ドラコン賞 杉田 健一氏 (株)森長組(2)

ニアピン賞 山本康一郎氏 (株)山本設計



佐川 圭 氏 (株)創建設計

Ⅳ お知らせ

◎訃報

当会顧問で、(一社)兵庫県建築士事務所協会会長の原田敏文様が令和7年10月18日にご逝去されました。

故人のご生前の多大なるご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表しますとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

◎行事予定

1 海外視察会

日 時：令和7年11月14日（金）～
11月22日（土）

視察先：ローマ及びシチリア

場 所：ローマ シチリアの旅

2 視察会

日 時：令和7年12月9日（火）
14:00～16:00

場 所：Gライオンアリーナ

3 事業推進委員会

日 時：令和7年12月9日（火）
17:00～19:00

場 所：神戸元町「梅の花」

内 容・講演「工業教育の現状と課題」

講師 県立尼崎工業高校校長
上月 通男 氏

4 新春交流会

日 時：令和8年1月8日（木）

17:00～19:00

場 所：神戸三宮東急REIホテル

◎ 編集後記

この度の会員総会理事選任決議で理事にご承認いただきました（令和7年11月1日付）足達和則でございます。

前任の吉本義幸氏の足元にも及ばない役不足者ではございますが全力を尽くす所存ですのでご指導方よろしくお願い申し上げます。

すでに、第534回月例会（横尾忠則入門～髑髏まつり～）や先に開催されました第170回研修交流会（城山ゴルフ倶楽部）にも参加させていただき楽しい雰囲気味わさせていただきました。

今回、初めて会報作成に挑戦いたしましたが大変難しく感じました。徐々に慣れて行く所存ですので行き届かないところもあろうかと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

事務局：足達和則、石井滝実子

電 話：078 (996) 2851

F A X：078 (996) 2852

Email：archit@axel.ocn.ne.jp

安心をカタチに

兵庫県住宅再建 共済制度 フェニックス共済



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大 80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した
住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ！**

県内に住宅（戸建て・マンションなど）をお持ちの方に

県内の住宅（借家含む）にお住まいの方に

住宅再建共済	一部損壊特約	家財再建共済
年額5,000円で 再建、補修時等に 最大600万円給付!	年額500円で 補修時等に 25万円給付!	単独加入 年額1,500円で 住宅とセット加入の場合 年額1,000円で 購入・修復時に 最大50万円給付!
※半壊（損害割合 20%）以上	※損害割合10%以上20%未満	※床上浸水・半壊以上

※ 住宅の被害認定（損害割合）は、住宅の所在する市町が発行する「り災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)
FAX: 078-362-4082

E-mail jutakukyosai@pref.hyogo.lg.jp

フェニックス共済 検索 加入申込書はダウンロードできます



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局（簡易郵便局除く）にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です！